

頭がよい人ではなく点を取った人が受かる

とても簡単なことですが忘れがちなことです。入試にはルールがあり、そのルールの中で合否が決まります。もっともシンプルで共通のルールは、「高得点の人が合格する」というものです。決して「能力が高い人」が受かるわけではないのです。何を当たり前のことを言っているのかと思う人もいるでしょうが、わかっている人が多いから言っています。みなさんは自分が「どの科目で何点取れば合格するか」を常に意識して、作戦を立てて勉強していますか。そして今の自分には何点とれるかを把握していますか。高3の直前期にはみんなやっていることですが、高1、高2でできている人はほとんどいないのではないのでしょうか。もったいないです。共通テストの問題は解いて採点しましたか？「いま合格のためにできること」はたくさんあります。手を抜かず、甘えず、ひとつずつこなしていきましょう。その先に必ず志望校合格が待っています。〔金子祐太〕

2月・3月のおもなスケジュール		
2/22	日	自習室開室（12:00～18:00）
23	月	天皇誕生日【授業あり】
25	水	2025年度授業終了
26	木	公立入試直前ゼミスタート
3/3	火	2026年度新年度開講
8	日	やる気UPコンサート
12	水	公立高校一般入試 サンTV 高校入試解答速報
14	土	新高1保護者会（13:00～14:30）
17	火	新高1やる気UP激励会
18	水	新高1USJツアー
19	木	公立高校一般入試合格発表
20	金	春分の日【授業あり】
23	月	3月度授業終了
24	火	春期講習スタート
28	土	自習室開室（12:00～18:00）

※4/4(土)および5(日)は公開テストがあります。

※1学期授業開始は4/6(月)となります。

先を見通す

受験シーズンも本番を迎え、入試・合格発表が続々と行われています。いろいろと悩んで選んだ志望校への挑戦。ほんとうに素晴らしいことだと思います。一方でその「選び方」は果たしてほんとうだろうかと思うこともあります。「いい学校」「いい就職」「いい生活」そんな言葉を耳にすることがありますが、何をもって「いい」と考えるのかをたずねると、イメージできていない人が多いです。私たち大人は自分が生きてきた世界しか知りません。しかし、子どもたちはこれからの世界を生きていきます。これまでの「いい」がこれからも「いい」である保証はありません。これから生きる人には自分にとっての「いい」を見つけてもらい、大人はそれを支えたいものです。〔金子祐太〕

とにかくスゴい進学塾
秘密はスーパー講師陣

特進館 TVCM2026 が完成。3/12の兵庫県公立高校入試解答速報にて放映されます！

1月の「自習王」決定！

★中学生の部		
中3 藤原 芽生	180.4 時間	
★高校生の部		
高3 下村 奈都	182.8 時間	

挑戦は宝物。

先日のことになりますが、ライブに出演しました。ギターを多少嗜む僕ですが、人前でしかも、知らない人たちの前で弾き歌いをするのは初めてでした。学生ぶりくらいにきちんとギターを弾きましたが恐らく僕はこの経験を一生忘れないでしょう。こんな経験を積むことが、将来の夢のきっかけになるのでしょう。子どもたちにはどんどん未知に飛び込んで新しいものに触れてほしいですね。〔福本翔太〕

3月分 2月27日(金)
学費の振替

先月号の特進館通信でもご案内しましたが、3月分学費と合算で、新年度教材費をお振替させていただきます。詳細につきましては明細とお配りしております2026年度年間教材費一覧をご確認ください。

油断が招く、入試の番狂わせ

もう数十年も前の私が中学3年の頃、同じ高校を受験する十数名の男子のうち、ある2人だけ飛び抜けて優秀な生徒がいました。彼ら2人は内申・実力ともに私たちより1ランク高かったせいか、日ごろから私たちに常に上から目線で話してくる、ちょっとイヤ～な存在でした。そのメンバーが、いよいよ迎えた高校入試の当日。例の2人は、試験会場までの道中で、私たちに自信満々のマウントを取ってくる。「入試日やのに、気分悪いよなあ」。親友と何度も顔を見合わせていました。入試が終わった帰り道でも、大きな声で「できた！」とか「余裕や！」みたいな調子…。私たちは、その声を聞いてどんどん自信を喪失していったのを覚えています。

さて、数日後の合格発表日。そこで前代未聞の衝撃的出来事が…。その優秀な2人が不合格、残りのメンバーが全員合格というまさかの逆転劇が発生。のちにわかったのは、彼らは得意な数学と理科で油断して、1問目(1)を計算ミスし、2問目以降の問題に連鎖反応を招いて大量失点、不合格になったということ。まるでウソのような話ですが、まぎれもない真実。これが「入試の番狂わせ(ジャイアントキリング)」です。この時期に大切なことは、「あせらず、あわてず」そして「おごらず」。受験生のみなさん、ぜひ心に刻んでおいてください。〔北村昌弘〕

編集後記

油断、気の緩み…いくつになってもコワイものです。日常的なことほど、慣れもあり気が緩みがちになります。そのことに自分で気付くことができていれば改善もできるのですが、それもできていない状況が一番コワイです。例えば、免許取りたての娘の運転は、技術的には不安がいっぱいですが、普段視界には入ってもあまり気に留めない標識や横断歩道への反応は素晴らしいもので、同乗していて少し気が引き締まりました。生活面でも仕事面でも、年度が切り替わる時期はいつものやり方を見直すいい機会かもしれないと思っています。